

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校長名		所 在 地	
国際デザイン・ビューティカレッジ		平成4年2月17日		永橋 正至		〒780-0935 高知県高知市旭2-22-58 (電話) 088-875-0099	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所 在 地	
学校法人 龍馬学園		平成元年3月23日		佐竹 新市		〒780-0056 高知県高知市北本町1-12-6 (電話) 088-825-0077	
目 的	本科では「快適な空間とは何か？」をテーマに、建築やインテリアデザインに関する幅広い内容をさまざまな視点から追及していく。より高い専門知識と技術を持った設計士やデザイナーを養成することを教育目的としている。未来の建築、インテリア空間を積極的に提案、演出していきける人材育成を目指す。						
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
工業	工業関係 専門課程	建築・インテリア デザイン科	2年 (昼)	1870単位時間 (又は単位)	平成25年文部科学 省告示第3号	-	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		434単位時間 (又は単位)	465単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	1271単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		34人		6人	11人	17人	
学期制度	■前期：4月1日～8月31日 ■後期：9月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 実技課題60点以上 学期末試験60点以上		
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月26日～8月23日 ■冬 季：12月24日～1月10日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件	各授業科目に係る出席時数が実授業時間数の10分の9以上かつ各授業科目100点を満点とし60点以上であること		
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者を交えた面談及び連絡			課外活動	■課外活動の種類：地域イベント にボランティア参加 ■サークル活動 (有・無)		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 建築設計事務所、建設会社、工務店 ■就職率 <sup>※1</sup> 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> 21.4% ■その他 (任意) (平成26年度卒業者に関する平成27年3月時点の情報)			主な資格・検定	・二級建築士(卒業後) ・インテリアコーディネーター ・インテリア設計士資格検定 ・福祉住環境コーディネーター検定 ・色彩検定 ・Word文書処理技能認定試験 ・Excel®表計算処理技能認定試験		

中途退学の現状	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 2.9%</p> <p>平成 28年 4月 1日在学者 34名 (平成 28年 4月入学者を含む) 平成 29年 3月 31日在学者 33名 (平成 29年 3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更のため。</p> <p>■中退防止のための取組 個人面談または三者面談を行い、学生の状況把握に努める。また、気になる学生については教職員間の情報交換や報告を迅速に行っている。</p>
ホームページ	<p><a href="http://www.ryoma.ac.jp/cid">URL:http://www.ryoma.ac.jp/cid</a></p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本科では、建築やインテリアに関する幅広い知識と技術を持った人材を養成することを教育目的としており、建築関係団体及び建設業の役職者等を教育課程編成委員会委員に選任し、建築・インテリア業界の専門性の動向、新たな技術動向に関する知識・技術について、関係者からの意見等を十分に反映して、より実践的な授業科目、授業の内容・方法の改善を図っていく方針である。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年3月1日現在

名 前	所 属
永橋 正至	校長
大久保 光洋	副校長 兼 事務局長
廣瀬美代子	教務部長
岩神 義宏	教務部副部長
石元 優	教務部課長
山下 智徳	一般社団法人 高知県中小建築業協会 協会員 (建築生活空間研究企画室 代表)
高木 さや	有限会社大崎建築

### (開催日時)

第1回 平成28年 8月10日 10:00～11:00

第2回 平成29年 2月22日 14:00～15:00

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

最近の技術動向を踏まえ、現場で必要な知識・技術を具体的に身に付けさせるため、関連団体や企業へのヒアリング等を通じて重要項目や課題を抽出し、その結果にもとづいた解決・改善内容を実習や演習内容に反映できるよう関連団体や企業と連携しながら計画を進める。また実習・演習等の実施後には関連団体や企業及び学生からの報告を元に、その効果を検証しながら改善を図る。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
デザイン実習Ⅱ	建築設計における動線計画や快適空間について、設計課題実習を通じて迫及する。	高知県建築士会

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

当校が実施する研修は、①新任者研修、②管理職研修、③養成研修に分けて行われており、県内外の各科に関わる業界関係団体や、教育関係団体が主催する研修などに積極的に参加させている。研修等の参加に当たっては、校長又は部門の長が本人のキャリアや適性、意欲等を考慮し、また学校全体の状況等も踏まえ、戦略的に研修を計画している。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 29 年 3 月 1 日現在

名 前	所 属
門谷 明	保護者
菅井 清次	地域住民：旭二丁目町内会
高橋 健太	地元企業関係者：(株)キャリアイノベーション 高知 G&G センターたるばあ センター長
山下 智徳	地元企業関係者：建築生活空間研究企画室 代表
高橋 和之	卒業生：グラフィスデザイン事務所 代表

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ryoma.ac.jp>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ryoma.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業関係専門課程 建築・インテリアデザイン科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			設計製図 I	図面の持つ役割や機能を理解し、設計意図を的確に表現する技能を学ぶ。建築の設計に係わる知識や設計手順を学び、建築設計計画を習得する。	1 通	217				○
○			CAD 実習 I	コンピュータでの設計業務が行えるよう設計支援ソフト(CAD)の基本的操作を習得する。CAD ソフト使って木造住宅の設計・製図を学ぶ。	1 通	124				○
○			住居学 I	人間生活の基礎である住まいについてその歴史、現状、暮らしと住まいのあり方、環境等について概説し、住宅計画と設計の基礎知識を学ぶ。	1 通	62		○		
○			インテリア コーディネート	インテリア計画からプレゼンテーションまでを含めて立体的にトータルなモノ作りを理解し問題意識を持って、実践的なインテリアプランを作り上げ、演出していく。	1 通	93			○	
○			モデリング	建築模型制作の意味を理解し、模型を制作しながら建築の構造・仕上げを学ぶ。模型制作に必要な基礎的な知識を学び、各計画別に模型を完成させていく。	1 通	62				○
○			パースペク ティブ	遠近法、消点法等を学び平面上に立体感のある空間を表現する方法を学ぶ。平面図、立面図、断面図、展開図等を合成し、立体的な空間に変換する手法を学ぶ。	1 通	62				○
○			ベーシック デザイン	デザインに必要なツールを駆使する技能を習得し、第三者に伝える能力、表現力を身につける。	1 通	62				○
○			施工実務 I	施工現場における基礎知識をはじめ、建築空間に合致した材料選定のために特性、品質、形状、寸法などの知識を習得する。	1 通	62		○		
○			デザイン実 習 I	人間工学、人体寸法などの方面から設計へアプローチを試み、空間デザインの提案を行う。	1 通	62				○

○		福祉住環境学	住居の内外における物理的環境を学び、その中で暮らす人たちが肉体的にも精神的にも健全で快適に満足して住めるような住居を計画できる知識を学ぶ。	1通	62		○		
○		色彩設計	色彩の基礎から学習し、建築インテリアに応用する知識をつける。「適色適所」を、専門分野で駆使できるように、カラースキルを身につける。	1通	62		○		
○		ビジネス PC 実習	Word、Excel の基本的操作を学び、実社会で役立つ実務能力を養う。	1通	62				○
○		ビジネスマナー	入社面接試験における立居振る舞いや、実社会で必要な基本的マナーを身につける。	1通	31			○	
○		社会研究	入社筆記試験にむけ、学力向上を目指す。	1通	31		○		
○		修了制作	一年間学んだ技術・知識の集大成。課題テーマに沿った調査、設計、模型の制作、プレゼンテーションまで一貫して行なう。	1通	31			○	
○		設計製図Ⅱ	設計製図Ⅰに引き続き、より実践的な建築製図、建築設計を学ぶ。公共性が高い施設の設計を通し都市と建築・環境と建築・町並みと建築などを考えプランニングする力を養う。	2通	217				○
○		CAD 実習Ⅱ	CAD 実習Ⅰに引き続き、二次元 CAD 製図の速度・正確さなど技術的向上を目指す。より実践的な作図技術を習得する。	2通	93				○
○		建築計画Ⅰ	建築の変遷とそれらをとるまわりの環境を理解する。建築の基本を自然環境、社会環境から学び建築計画の理念や方法を学ぶ。	2通	31		○		
○		建築設備	衛生・空調設備を中心に、設計及び計画上必要な基礎知識について実践を通して学ぶ。	2通	31			○	
○		構造力学	建築物の安全性を考える上で重要な部材に生ずる力を解析する能力を養う。	2通	31		○		
○		一般構造	建築構造（形・力学）の初等領域について学ぶ。構造学と形態の関わりやその歴史、建物の骨組みや仕上げの構成を学ぶ。	2通	62			○	

○		建築施工	現場施工、内外装工事実施の結果の確認等に関し、各建築物の企画等を行ううえで必要とする専門知識を習得する。	2通	31		○		
○		建築法規	法規、法令・基準、規格について、その理念と運用について理解する。	2通	31		○		
○		3D-CAD	CGモデリング機能及びレンダリングソフトを使い、モデルを作成。CADによる三次元の立体的表現を通して空間の構成及びプレゼンテーション能力を養う。	2通	93				○
○		インテリアデザイン	インテリアコーディネートに引き続き、インテリア空間に対する総合的な計画、企画、設計、コーディネーションの提案力、表現力、技術力の向上を図る。	2通	93			○	
○		ライティングデザイン	各種照明器具や建築化照明などの理解のほか、照明設計、照度計算について学び、実務で応用できる能力を身につける。	2通	62			○	
○		施工実務Ⅱ	施工実務Ⅰに引き続き、施工現場における専門知識をはじめ、管理、積算、見積、工事請負契約などについて学ぶ。	2通	31		○		
○		プレゼンテーション	ベーシックデザインに引き続き、デザインツールの技能向上、表現力のレベルアップを図る。	2通	93				○
	○	デザイン実習Ⅱ	デザイン実習Ⅰに引き続き、空間デザインに対する応用力、設計力のレベルアップを図る。	2通	62				○
	○	CAD実習Ⅲ	CAD実習Ⅰ・Ⅱで使用する「Vectorworks」とは異なるCADソフト「Jw cad」を習得する。	2通	62				○
	○	建築研究	住空間における建築計画や環境工学について、住宅設計課題を通じて追及する。	2通	62				○
	○	インテリア研究	住空間におけるインテリアコーディネートや家具設計について、住宅設計課題を通じて追及する。	2通	62				○
○		卒業制作	2年間で培った技術と知識の集大成。研究テーマ、調査、設計、作品制作、プレゼンテーションまで一貫して行なう。	2通	62			○	
合計				33科目	2170単位時間 ( 単位)				